

No.	年度	区分	名前（ふりがな）	コース	実習校	推薦理由
1	令和 6 年度	現職院生	いのつめ まさき 猪爪 正樹	学校経営コース	新潟市立 早通小学校	実習校の防災教育の系統性がない指導であることを課題と捉え、学びを体系化する防災教育カリキュラムの策定を目指して研究を進めている。文科省資料等から、実践的な防災教育が重要であると理解し、教科横断的な視点と地域との連携を取り入れて児童が地域住民と共に学び、自助・共助の学びを促進する効果が期待できるという視点をカリキュラムに加えることとした。また、研究を進めながら、防災教育は実践校で目指す資質・能力の育成において重点になると捉え直した。これにより、単にカリキュラム策定に留まらず、学校経営の視点で教育課程の編成や職員研修を通じた教職員育成、地域との連携づくりを研究の対象としている。
2	令和 6 年度	現職院生	やまざき しょうた 山崎 翔泰	学校経営コース	阿賀野市立 水原小学校	若手教員の育成を通して学校の教育力が高まる「初任段階教員育成システム」の構築を目指している。ベテラン層の大量退職に伴う若手教員の採用数の増加が進む学校現場において、質の高い教育活動を展開し、児童生徒への教育効果を高めるには、教員の力量形成が必要となる。若手教員の育成を通かを探っている。学校の教育力を高めるには、教員の力量形成が必要となる。若手教員の育成を通じて、全教職員が関わる「能力育成」の機会を計画的に配置し、学校全体での人材育成を強化し、教員間の協力を促進することを「初任段階教員育成システム」の目的として実践を行っている。
3	令和 6 年度	現職院生	くさの だいき 草野 大樹	教育実践コース	長岡市立 上通小学校	前期研究では「小規模小学校のチーム担任制導入に関する在籍校でのジュレミレーション研修」をテーマに、在籍校でチーム担任制を導入した際にどのようなことが想定されるかを追究した。後期研究では、「小規模小学校における異学年の教科交換と定期打ち合わせが児童の行動に与える影響の分析」在籍校で、チーム担任制が生徒指導に効果があるのかを分析した。
4	令和 6 年度	現職院生	ひぐち とむこ 樋口 智彦	教育実践コース	新潟市立 大形小学校	社会科学教育において児童の市民性を育むことを目指し、「社会のあり方を考える小中学校社会科授業」をテーマに研究を進めている。前期は先行文献の調査等から授業構想の視点を明らかにし、後期は授業実践を通してその視点を検証した。大学院での授業以外に学会や県内外の研究会へ積極的に参加し、自身の研究を深めようとした。
5	令和 6 年度	学部卒院生	しおざわ こうだい 塩沢 輝大	教育実践コース	新潟市立 青山小学校	小学校体育科のボール運動領域において、ボール操作に苦手感のある児童でもゲームに意欲的に参加することができ授業づくりに取り組んでいる。前期は、実習中の高学年ボール運動、『ハンドボール』の授業の参観により、「ボールを持っている子と空いたスペースに走り込み動き」や「ボールを持たないときの動き」について考察した。後期は、ボール運動領域ネット型の『ソフトバレーボール』において、「得点すること」と「ボールを持たないときの動き」を学習課題とする実践を行った（6年生、2学期合同体育、7時間）。現在は、実践の振り返りと自分の行った手立ての効果についての分析を行っている。